



佐川美術館  
アートコラム⑮

## 建築もアート

公益財団法人佐川美術館  
学芸員：藤井 康憲



日本全国に1、200施設以上ある美術・博物館。その中で美術館といわれる施設だけでも400施設以上あります。展示されている美術・アート作品だけを楽しむのではなく、建築物や庭園などを楽しむ施設も多くあります。佐川美術館もその一つで、「水に浮かぶ美術館」としてさまざまな建築賞を受賞しています。

佐川美術館の基本コンセプトは、日本の「和」をイメージしています。モントーンの外観のどこに日本的なイメージを見るのかといえば、例えば本を開いて伏せたような形をしている大きな屋根。これは日本の伝統的な建築技法である「切妻造」を採用しています。また、琵琶湖をイメージした水庭に浮かぶ建物は、世界遺産・厳島神社(広島県)のような趣きを感じさせます。

美術館の中に一步入ってみると、ミュージアムカフェからの眺めは、四角いガラス越しに一枚の絵画が広がっているかのように見えます。また、茶室・広間からの眺めは、琵琶湖で見られる植物、ヨシとヒメガマの向こう側に比叡山系を遠望する借景となっています。ほかにも時間帯によつては日光の差し込みによる幻想的な光景を見ることが出来る場所もあり、自然との調和が美術館の建築美を一層彩っています。

次に佐川美術館にお越しいただくときはぜひ、建物のたずまいもアート作品の一つとして鑑賞ください。なお、茶室見学は事前予約が必要です。

いつだって好奇心 手を伸ばせばそこに本

## 子どもの読書活動 学校・園の取り組みを紹介します⑭

問 社会教育課 ☎(582)1142 ☎(581)2733

### 守山中学校

#### 守中読書の日

今年の図書委員会のキャッチフレーズは「つながり」。毎月15日を「読書の日」とし、その月のテーマに沿った本を朝読書の時間に全校放送しています。

その月のテーマや本は図書委員が選び、放送は委員長・副委員長が行っています。年代がすすめる本ということもあって、生徒たちは興味津々で聴いています。また放送を聴くだけでなく、自分のおすすめの本を記入したり、置いてほしい本のリクエストを書いたりすることもできます。

昼の図書室開放時間にはたくさんの生徒が集まり、本を読んだり、お目当ての本を探したりしています。

これからもいろいろなアプローチで生徒たちの読書の世界を広げたいと思います。



### もりの風子ども園

#### 絵本をとおした親子のふれあい

年齢ごとに応じた月刊絵本を楽しんでいます。

毎月、クラスで保育者や友だちと十分に絵本を楽しんだ後、家庭に持ち帰り保護者の皆さまとも絵本の世界を共有します。

0歳児では「たたんぱ たたんぱ」という絵本がお気に入りです。心地よい言葉のリズムとページをめくるごとに繰り広げられるストーリーが楽しい絵本です。園から持ち帰った絵本を家庭でも何度も繰り返し楽しんでいるエピソードを保護者の皆さまから聞かせていただきます。そこには絵本を通した親子のふれあいが見えてきます。こうした時間は、子どもにとって何よりも幸せな時間となっていると感じます。

